

佐賀県武雄市が取り組む教育の概要

〈参考資料〉



佐賀県武雄市

人口: 50,421人

小学校数: 11校(分校3校)

児童数: 2,834名

中学校数: 5校

児童数: 1,344名

(平成26年4月1日現在)



武雄市図書館

これまでのICT機器の整備状況

●電子黒板

平成21年度より整備を開始。

整備率は平成25年度末現在、小学校87台(67%)、中学校121台(68%)

平成27年度までに100%の整備を目標としている。

●タブレット端末(iPad)

平成22年度に「ICT利活用教育は重要な課題」の認識で一致。同年春に発売されたタブレット端末(iPad)を、同年12月に市内2校(武内小、山内東小)の4・5・6年生に一人一台整備。(地域雇用創造ICT絆プロジェクト196台 市費40台、計236台)

調べ学習などで活用を行うほか、LMS(学習支援システム)を導入し、小テストなどでの生徒の正誤をリアルタイムで先生のタブレットに反映することで、ピンポイント指導を行ったり、授業全体の組み立てを行っている。

また、電子黒板と連携することで、生徒たちの意見や解答例を児童全員で共有したり、電子教科書の利活用を行っている。

人材育成

●職員研修

平成24年10月より市内学校の先生方自ら「ICTスキルアップセミナーin武雄」を立ち上げ、毎週第2水曜日にセミナーを開催。電子教科書操作研修、電子黒板の使い方など研修を随時行っている。

スマイル学習(ビデオ予習型授業／武雄式反転授業)

●タブレット端末

平成26年度より、市内用学校全児童にタブレット端末(3, 153台)を貸与。
平成27年度には、市内中学校児童(約1, 500名)に貸与予定。

●スマイル学習(ビデオ予習型授業／武雄式反転授業)

家庭で、翌日行われる授業の動画(基礎)を見て知識の習得を行い、翌日学校では教え合い、学びあいを中心とした授業を行う授業形態(いわゆる反転授業)を、平成26年度より市内全小学校の3年生以上に導入。児童の知識習得の効率を上げるとともに、落ちこぼれをつくらない学校づくりを行う。